２　議　題

資料５

（２）【下水道事業】

②　下水道ビジョン（素案）について

・前編

・本編

・資料編

Copyright© Anjo City. All Rights Reserved.

～前編～

下水道とは　P.(3)～
安城市下水道　P.(7)～
下水道のこれから　P.(13)～

～本編～

本編目次　P.(17)～
第１章　P.(19)～
第２章　P.(24)～
第３章　P.(35)～

～資料編～

アンケート結果　P.(46)～
管理指標一覧　P.(53)～

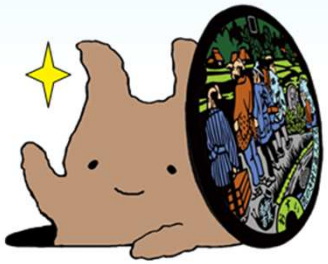
はじめに

下水道ビジョンを

より面白くする！

最初に知っていただきたい

下水道の３つのこと



Copyright© Anjo City. All Rights Reserved.

下水道とは

下水道の役割

下水道ビジョンP3-4

下水道がなかったら、
こんなになっちゃうの！？

ビフォー

下水道を整備したら

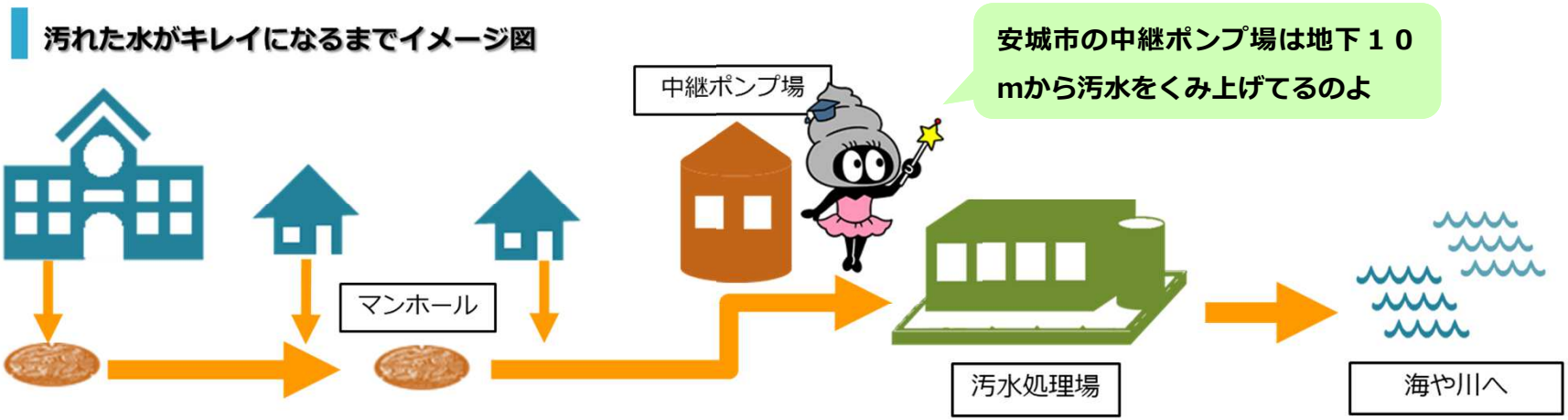
アフター

下水道とは

下水道（汚水）の仕組み

下水道ビジョンP5-6

汚れた水がキレイになるまでイメージ図



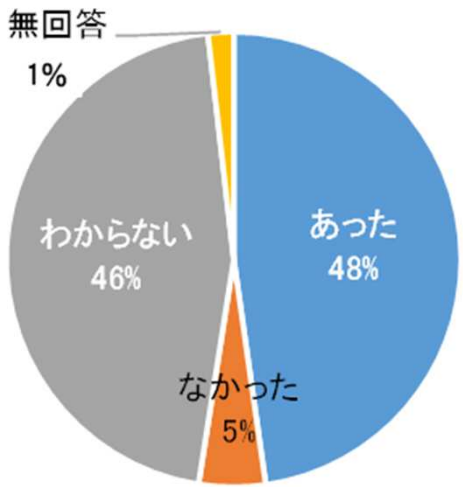
安城市下水道 下水道の概要

下水道ビジョンP7-10

安城市下水道 下水道の効果

下水道ビジョンP11-12

生活環境の向上



アンケートへの
ご協力ありがとう

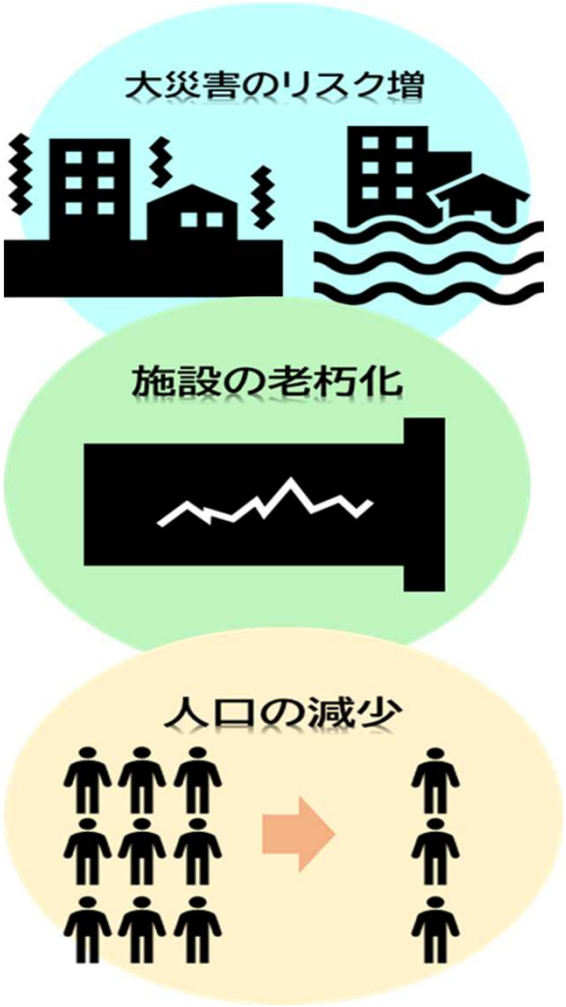
水質の改善

油が淵の水質状況
昭和59年　全国【ワースト２位】
令和３年　全国【ワースト21位】

下水道のこれから

課題と方向性

下水道ビジョンP13-14



基本理念

みんなでつくろう
未来につなぐ　水の環下水道

３つの基本方針

安心できるきれいで快適な暮らしの創造

安全で強靭な下水道の構築

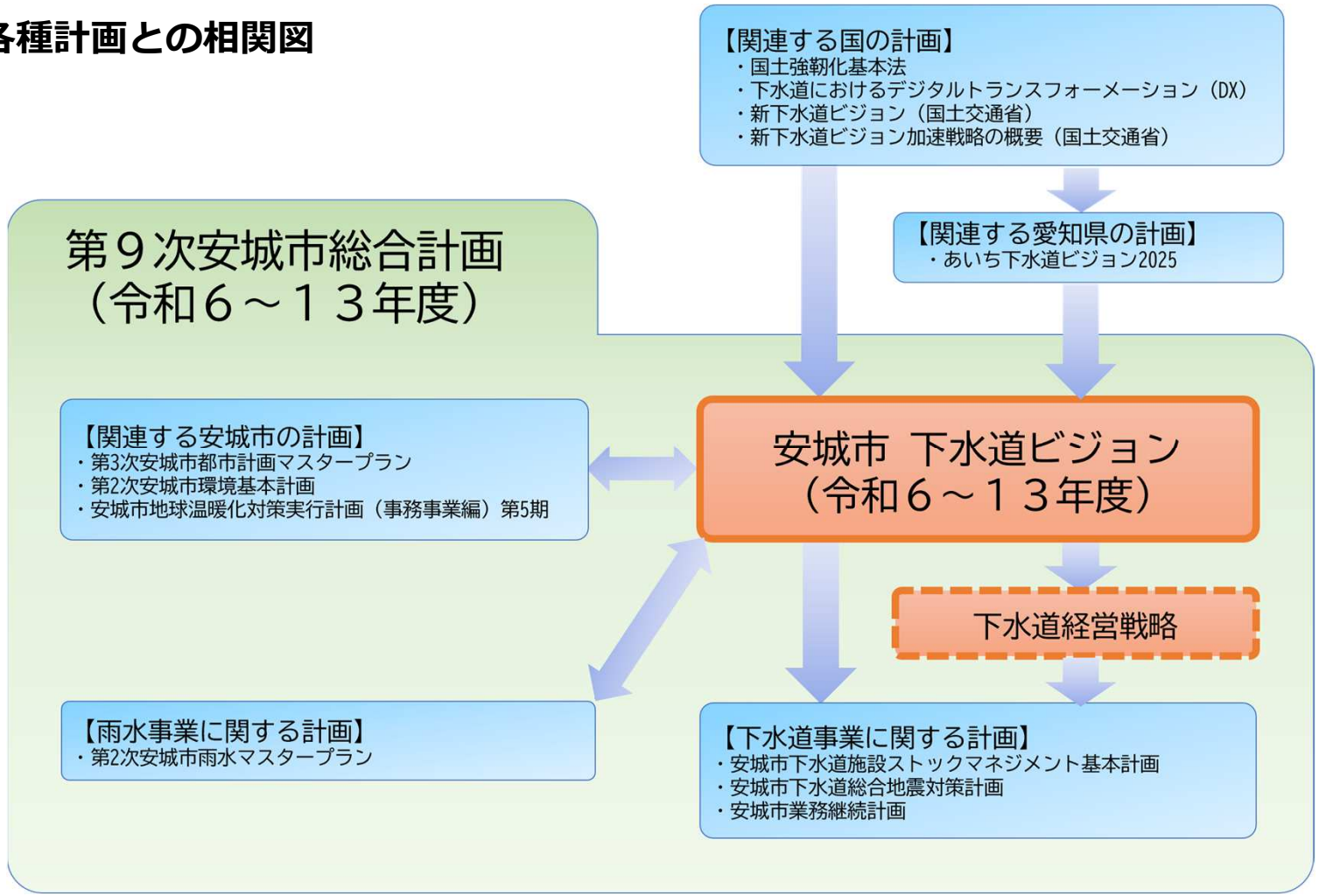
安定して持続する下水道サービスの提供

下計画の進め方

各種計画との関連

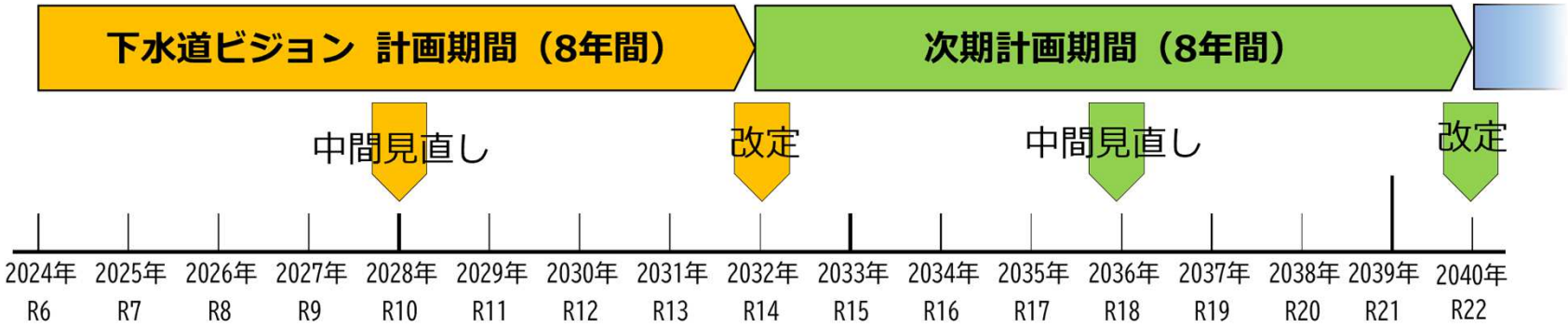
下水道ビジョンP15

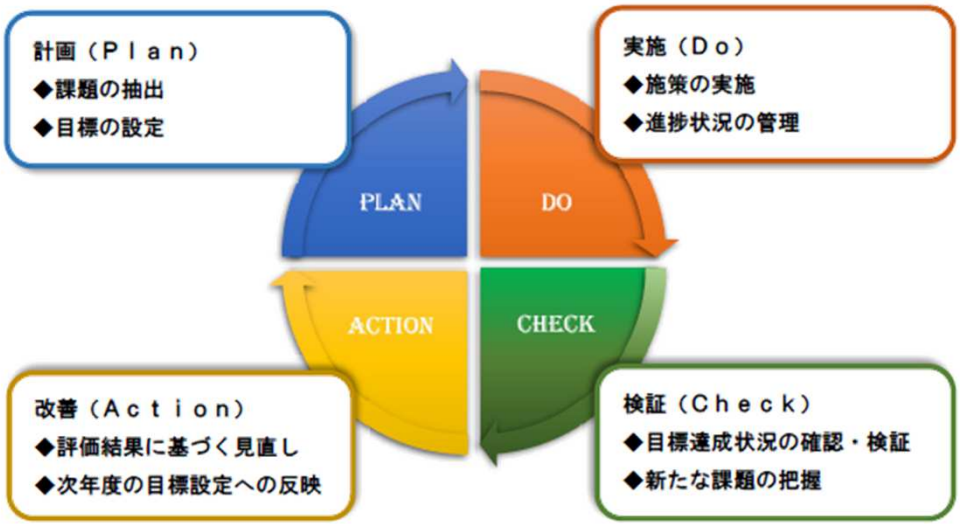
各種計画との相関図



下水道ビジョンP16

計画期間　令和6（2024）年度から令和13（2031）年度までの8年間





本編

３つの基本方針

施策

下水道ビジョンP17-18

安心
できるきれいで
快適な暮らしの創造

第１章

- １－１　下水道の未普及対策
- １－２　下水道への接続推進

安全
で強靭な
下水道の構築

第２章

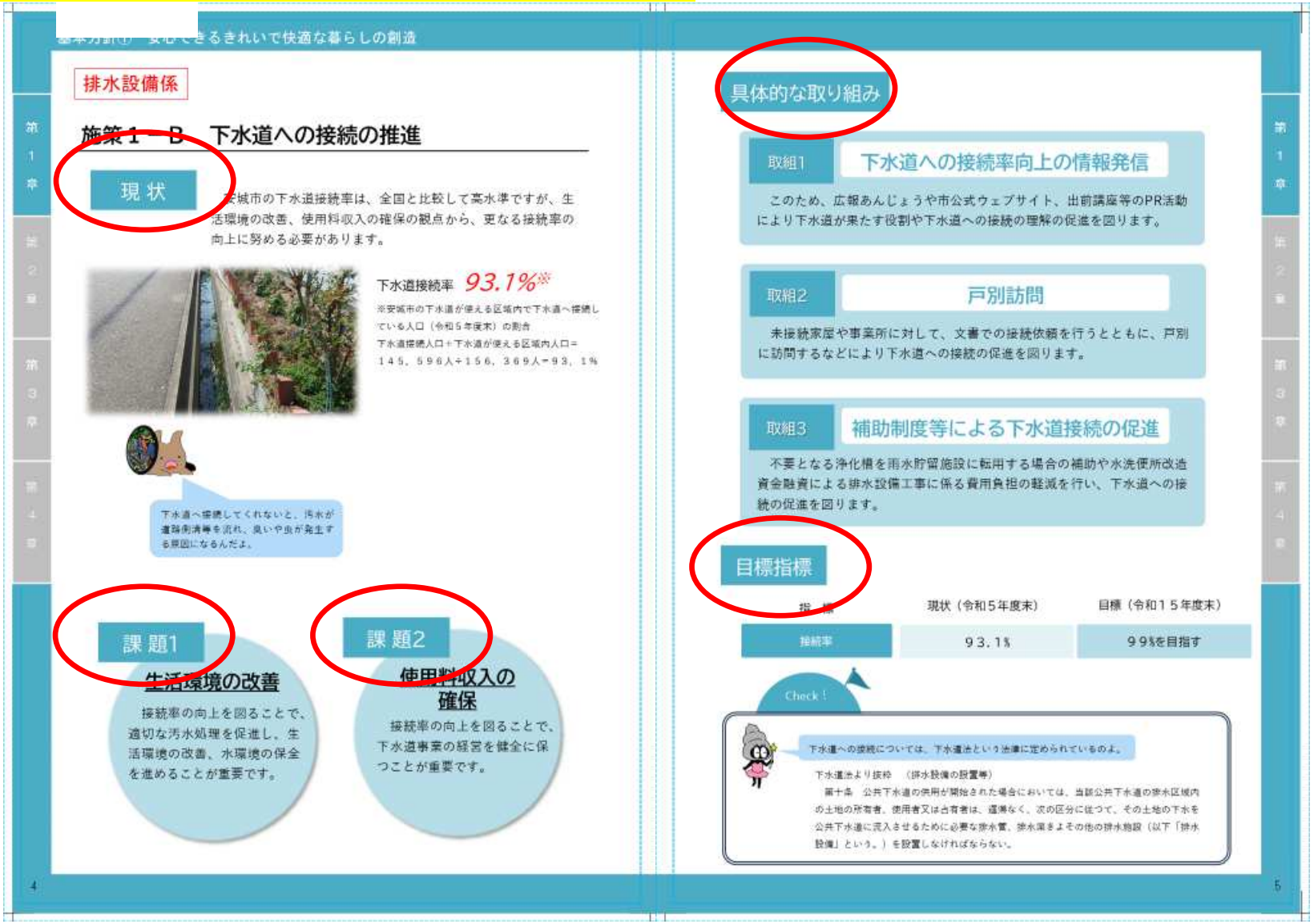
- ２－１　下水道管路施設の老朽化対策
- ２－２　下水道施設の耐震化対策
- ２－３　業務継続計画（BCP）の運用訓練の実施
- ２－４　民間事業者との連携の検討
- ２－５　新技術導入

安定
して持続する
下水道サービス
の提供

第３章

- ３－１　広域化・共同化の推進
- ３－２　人材育成の強化・確保
- ３－３　広報・広聴活動の推進
- ３－４　独自財源の確保
- ３－５　健全な下水道経営

下水道ビジョン本編のレイアウト



基本方針① 安心できるきれいで快適な暮らしの創造

排水設備係

施策１－Ｂ　下水道への接続の推進

現 状

安城市の下水道接続率は、全国と比較して高水準ですが、生活環境の改善、使用料収入の確保の観点から、更なる接続率の向上に努める必要があります。

下水道接続率 93.1%※

※安城市の下水道が使える区域内で下水道へ接続している人口（令和５年度末）の割合
下水道接続人口÷下水道が使える区域内人口＝１４５，５９６人÷１５６，３６９人＝９３．１％

下水道へ接続してくれないと、汚水が道路側溝等を流れ、臭いや虫が発生する原因になるんだよ。

課 題1

生活環境の改善

接続率の向上を図ることで、適切な汚水処理を促進し、生活環境の改善、水環境の保全を進めることが重要です。

課 題2

使用料収入の確保

接続率の向上を図ることで、下水道事業の経営を健全に保つことが重要です。

具体的な取り組み

取組1　下水道への接続率向上の情報発信

このため、広報あんじょうや市公式ウェブサイト、出前講座等のPR活動により下水道が果たす役割や下水道への接続の理解の促進を図ります。

取組2　戸別訪問

未接続家屋や事業所に対して、文書での接続依頼を行うとともに、戸別に訪問するなどにより下水道への接続の促進を図ります。

取組3　補助制度等による下水道接続の促進

不要となる浄化槽を雨水貯留施設に転用する場合の補助や水洗便所改造資金融資による排水設備工事に係る費用負担の軽減を行い、下水道への接続の促進を図ります。

目標指標

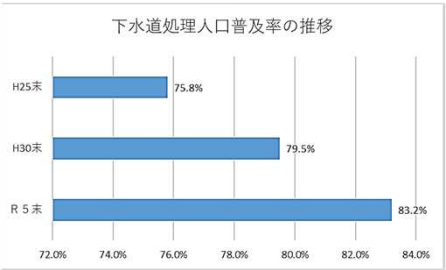
指 標	現状（令和５年度末）	目標（令和１５年度末）
接続率	９３．１％	９９％を目指す

Check！

下水道への接続については、下水道法という法律に定められているのよ。

下水道法より抜粋　（排水設備の設置等）
第十条　公共下水道の供用が開始された場合においては、当該公共下水道の排水区域内の土地の所有者、使用者又は占有者は、遅滞なく、次の区分に従つて、その土地の下水を公共下水道に流入させるために必要な排水管、排水渠およその他の排水施設（以下「排水設備」という。）を設置しなければならない。

本編　第１章



施策１－１ 下水道の未普及対策

下水道ビジョンP20-21

取 組	下水道の計画的な整備

	指標	現状(令和5年度末)	目標(令和13年度末)
目標指標	下水道処理人口普及率	83.2%	87.4%
	下水道整備進捗率	93.0%	100.0%

施策１－２　下水道への接続推進

下水道ビジョンP22-23

取組１	下水道への接続促進
取組２	戸別訪問
取組３	補助金制度等の情報発信

	指標	現状(令和5年度末)	目標(令和13年度末)
目標指標	接続率	93.1%	100.0%

本編　第２章

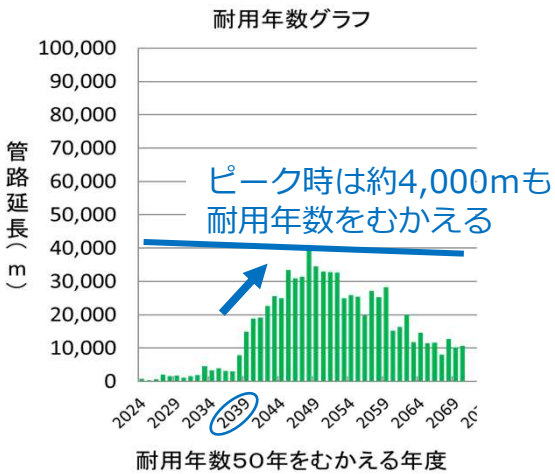
施策2－１ 下水道管路施設の老朽化対策

下水道ビジョンP25-26

取組１	計画的な点検・調査
取組２	計画的な修繕・改築

目標指標

指標	現状(令和5年度末)	目標(令和13年度末)
点検数	0 箇所	11,000箇所
調査延長	41.1km	64.0km
修繕・改築延長	0.0km	5.0km



工事業者からの通報で穴が開いていることが判明

本編　第２章

施策2－２ 下水道施設の耐震化対策

下水道ビジョンP27-28

取組１	下水道施設の耐震化
取組２	マンホールトイレの整備

	指標	現状(令和5年度末)	目標(令和13年度末)
目標指標	耐震化済みの管渠延長	875m	971m
	マンホールトイレ整備数	41避難所	50避難所

施策2－３ 業務継続計画（ＢＣＰ）の運用訓練の実施

下水道ビジョンP29-30

取　組	訓練の計画的な実施

目標指標	各種災害対応訓練を年３回以上実施

本編　第２章

施策２－４ 民間事業者との連携

下水道ビジョンP31-32

取組１	ウォーターＰＰＰの導入検討
取組２	包括的民間委託の調査・研究

目標指標	ウォーターPPPを令和８年度までに導入できるよう検討
	包括的民間委託の調査・研究を実施

ウォーターＰＰＰとは、水道、下水道、工業用水道など水分野の公共施設を対象とし、公民連携で長期的に管理と更新を一体的にマネジメントする手段のことを言うんですよ。

施策２－５ 新技術導入

下水道ビジョンP33-34

取組１	先進技術の導入検討
取組２	汚水処理施設等の強靭化

目標指標	先進技術の導入の検討
	最新の耐震工法、耐震資材の導入

本編　第３章

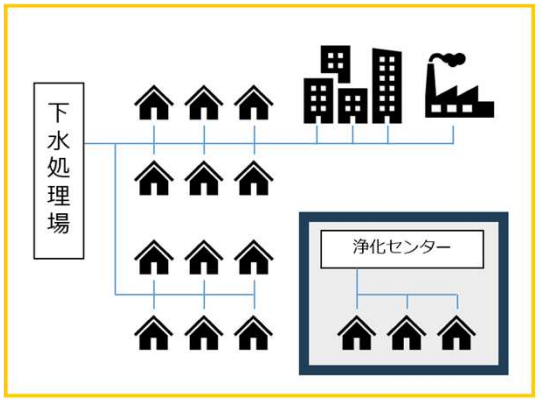
安定して持続する下水道サービスの提供

施策３－１　広域化・共同化の推進

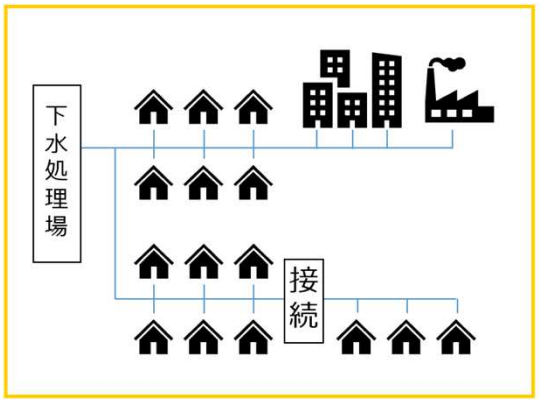
下水道ビジョンP36-37

取組１	農業集落排水の公共下水道への統合
取組２	他自治体との事務の共同化

目標指標	農業集落排水を令和８年度に公共下水道へ統合
	排水設備工事の各種申請のオンライン化を令和７年度に導入
	不明水調査を令和８年度に開始



Before（ビフォー）



After（アフター）

本編　第３章

施策３－２ 人材の育成・確保

下水道ビジョンP38-39

取組１	研修会への参加及び勉強会の開催
取組２	他市町との情報共有及び収集
取組２	就業体験の活用
目標指標	外部研修や視察等で得た知識を基にした課内研修会等の年３回以上の実施

施策３－３ 広報・広聴活動の推進

下水道ビジョンP40-41

取組１	出前講座、イベントの活用
取組２	公式ウェブサイト等の活用
取組３	マンホールカードの活用
目標指標	毎年、市内小学校での出前講座の実施
	イベント参加などの５回以上の実施

ASFをご存知ですか？

ＡＳＦとは、Anjo Suido/Sewer Futureの略で、上下水道部の若手職員を中心に構成された、上下水道事業の広報活動を行うプロジェクトチームです。

本編　第３章

施策３－４　独自財源の確保

下水道ビジョンP42-43

取組１	マンホール蓋への民間広告の掲載
取組２	マンホール蓋の販売

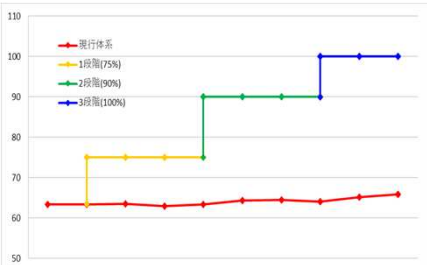
	指標	現状(令和5年度末)	目標(令和13年度末)
目標指標	民間広告掲載のマンホール数	0個	40個
	マンホール蓋販売数	0個	20個

施策３－５　健全な下水道経営

下水道ビジョンP44-45

取　組	適正な下水道使用料の検討

	指標	現状(令和5年度末)	目標(令和13年度末)
目標指標	経費回収率	63.7％	100％以上



下水道使用料改定イメージ

資料編

アンケート結果

下水道ビジョンP47-51

アンケート調査の概要

1．調査対象　下水道を使用されているご家庭の中から、無作為に2,000世帯を抽出
2．調査方式　紙方式またはＷＥＢ方式
3．調査時期　令和４年８月
4．回収状況　有効回答数　825件（41.3％）

1.市民アンケートの結果報告について

D要望：問21

【問21】自由記載

- 使用料金について、値上げはある程度仕方がないや必要であれば容認するといった意見も多いが、逆に反対意見（値上せず頑張ってほしいや、税金で賄ってほしいなど）も多くあった。
- 維持管理、老朽化対策、耐震化など、防災・減災や持続的な事業運営を希望するような意見も多くあった。
- 下水道事業の情報発信の必要性や要望も見受けられた。
- 公民連携に関する否定的な意見も散見された。

肯定的な意見（一部）：
「料金を値上げしてでも、老朽化対策、災害対策を進めて欲しい。」
「下水道事業に関する事をほどんど知りませんでした。情報発信を。」
否定的な意見（一部）：
「値上げはもちろん反対ですが、使用できなくなるのは困ってしまうので対策は進めていただいて、災害等発生した際にも市民が困らないようにして下さい。（省略）」
「民間企業との連携は望んでいません。下水道業務は市で行って欲しいです。（省略）」

管理指標一覧

下水道ビジョンP53-54

指標	現状（令和5年度末）	目標（令和13年度末）
下水道処理人口普及率	83.2%	87.4%
下水道整備進捗率	93.0%	100.0%
接続率	93.1%	100.0%
点検数	0箇所	11,000箇所
調査延長	41.1km	64.0km
修繕・改築延長	0.0km	5.0km
耐震化済みの管渠延長	875m	971m
マンホールトイレ整備数	41避難所	47避難所
各種災害対応訓練を年3回以上実施		
ウォーターPPPを令和8年度までに導入できるよう検討		
包括的民間委託の調査・研究を実施		
先進技術の導入検討		
最新の耐震工法、耐震資材の導入		
農業集落排水を令和8年度に公共下水道へ統合		
排水設備工事の各種申請のオンライン化を令和7年度に導入		
不明水調査を令和8年度に開始		
外部研修や視察等で得た知識を基にした課内研修会等の年3回以上の実施		
毎年、市内小学校での出前講座の実施		
イベント参加などの5回以上の実施		
民間広告掲載のマンホール数	0個	40個
マンホール蓋販売数	0個	20個
経費回収率	63.7%	100.0%以上

今後のスケジュール（予定）

日程	内容
本日	第１回審議会　素案の説明
R6. 7月	第２回審議会　修正内容の説明
R6.10月	第３回審議会　修正内容の説明
R6.11月	パブリックコメント意見募集
R7. 1月	第５回審議会　パブコメ結果説明、答申
R7 .2月頃	施行

Copyright© Anjo City. All Rights Reserved.